

食品包装の全自動帯巻機のご紹介!!

株式会社 大竹製作所

包装容器の帯フィルムは食品包装の最終工程として、食品衛生法に定められている表示義務（食品名や製造した日付等）の表示や、食品包装容器のはずれを防止するといった重要な役割があります。

このフィルムに賞味期限の印字+帯巻き作業を手作業で行っている場合、一人1分間に6個程度が限界です。

その作業の手助けとして、今回は日付印字と帯巻きを自動化する全自動帯巻機をご紹介します。

■全自動

食品包装容器を供給部に投入するだけで、自動で帯に日付を印字し、帯をカット、熱圧着して、排出します。処理能力は1分間に33個、1時間で2,000個の帯巻きが可能です。

■冷凍食品にも対応

通常の包装機でプラスチック帯を熱圧着する場合、帯を包装容器に重ねるため、冷凍食品では結露による圧着不備が発生することがあります。

一方、こちらの帯巻機は容器から離れた状態で熱圧着できる独自機構「合掌貼り」を採用したことにより、結露に強く、冷凍食品にも対応します。

もちろんノリを塗布した帯フィルム圧着にも対応可能です。

■既存ラインに導入可能

コンパクト設計なので、既存のラインレイアウトを崩さず導入することができます。



【当社ホームページ】 <https://otake-ss.co.jp/>

【商品紹介ホームページ】 <https://otake-ss.co.jp/kiki01/packaging-machine/>

【商品紹介動画】 <https://www.youtube.com/watch?v=h8AEENHlh8Y>